

き い ぶ

平成24年（2012年）3月 第82号



平塚市図書館

平成23年度イベント報告

今年度も、図書館ではさまざまな行事が開催されました。その一部を報告いたします。

一日図書館員



7月下旬、毎年恒例の「一日図書館員」が中央図書館で4日間、北・西・南図書館で各3日間、午前・午後の部に分け計24回開催され、計221名の小学生が参加しました。

暑い日が続きましたが、皆さんエプロン姿で図書館のカウンター体験、しらべものクイズなどに挑戦してくれました。

今年の夏休みにも大勢来てくださるのをお待ちしております。

人形劇

☆中央図書館 10月9日（日）劇団員の火「一寸法師」

中央図書館では、夏季の節電の関係で、秋休みに人形劇を開催しました。

上演終了後、再び出てきてくれた一寸法師に、みんな大喜びでした。



☆北図書館 11月20日（日）たかつ人形座「和尚さんと小坊主」

☆西図書館 8月17日（水）

あとりえMOON「かもとりごんべえ」「あたまやま」

☆南図書館 12月24日（土）

オフィスやまいも「ヘンゼルとグレーテル」「ふしぎな おうち」

講習会

読み聞かせに関心のある方、実際に現在活動されている方などを対象に、講習会を開催しました。（下は23年12月末までに実施済みの分）

☆「心をつなぐ紙芝居～選び方・演じ方講座～」講師・森内直美先生

11月10日(木)、17日(木) (全2回) 中央図書館3階会議室

☆「読み語りボランティア入門講座」講師・安富ゆかり先生

10月 6日(木)、13日(木) (全2回) 中央図書館3階会議室

市民の図書館員体験

小学生が対象の「一日図書館員」の大人版として、中央図書館で初の試みでした。11月11日(金)に7名、12日(土)に6名の方が参加し、日ごろは一般公開しない書庫を含めた図書館内の見学や、本の装備、調べもの等を体験しました。「書庫を自由に見学できたのはよかった。また入ってみたい」「図書館で実際に働いてみたい」などのご感想をいただきました。

体験学習

平塚市内や近隣の小・中・高等学校の生徒さんが、図書館の仕事を体験しました。（右表は23年12月末までの実施分）最初のうち窓口で緊張されていた方もいましたが、「お客様に『ありがとう』と言ってもらえた時、嬉しかった」「実際の仕事をやってみて、面白かった」などのお便りをいただきました。将来の仕事について、考えるきっかけになったのではないのでしょうか。利用者の皆様のご協力に、心から感謝いたします。



受入館	学校名	学年	人数
中央館	中原中学校	2年	6名
	県立大原高等学校	2年	8名
	盲学校中学部	3年	1名
	平塚中等教育学校	2年	3名
	大野中学校	2年	3名
	金目中学校	1年	3名
	浜岳中学校	2年	4名
	春日野中学校	1年	4名
北館	県立大原高等学校	2年	3名
	神田小学校	2年	8名
	神田中学校	2年	12名
西館	金目中学校	1年	3名
	山城中学校	1年	3名
南館	県立大原高等学校	2年	4名
	浜岳中学校	2年	4名

また社会人体験実習として市内・近隣の小・中・高等学校の先生が中央館に14名、北・西・南館に各1名、計17名図書館業務を体験しました。

24年度もたくさんのイベントを計画しています。館内ポスターや「きいぷ」、図書館ホームページなどでお知らせします。どうぞご参加ください！！



連載 平塚の寺子屋（旭）

旭地区は、前回（「きいぷ」第80号掲載）紹介しました金目と隣接している関係上、やはり教育熱心な所でした。このことを示すものとして以下のことがあげられます。

明治から大正にかけて「相模半白胡瓜」の栽培に技術革新をもたらした篤農家・木島才次郎を生み（「きいぷ」第51号 2002年6月発行）さらに明治43年（1910年）には「旭通俗図書館」を設立開館したことでわかります。（「きいぷ」第71号 2007年9月発行）

では、旭にあった寺子屋「三枝堂」について紹介します。

三枝堂

師匠は、高橋鳩雨（斎藤鳩雨）。文化10年（1813年）小田原藩斎藤家に生まれる。本名は通時。鳩雨は俳号。天保3年（1832年）小田原藩大久保家の家臣となるが、その後藩主から譴責処分を受け職を辞し、根坂間村の高橋孫左衛門に招かれ同家に寄寓し、同家敷地内に家を立て私塾「三枝堂」をつくり明治5年（1872年）頃まで開校していました。子弟は、根坂間村を中心に300人を数え、明治15年（1882年）伊東希元の撰文で鳩雨70歳を祝い18ヶ村の弟子達によって「鳩雨居士寿碑」が根坂間の宝殊院内に建碑されました。鳩雨は、年代不明ながら寄寓先の高橋姓に改姓し、明治32年（1899年）2月4日、87歳の生涯を閉じました。

（参考文献）

『神奈川の寺子屋』	神奈川新聞社	1993年
『平塚市史』9通史編	平塚市	1990年
『図説平塚の歴史』上	郷土出版社	1994年
『神奈川県史』別編1人物	神奈川県	1983年
『角川日本姓氏歴史人物大辞典』14	角川書店	1993年



「きいぷ」は利用者のみなさまと図書館をつなぐ情報誌です。

図書館が開催するイベントのお知らせや報告、本の紹介などを中心に、年4回の予定で発行してまいります。図書館内のほかに、最新号は市役所や市内公民館でも配付しています。図書館ホームページでバックナンバー（PDF形式）もご覧いただけます。どうぞご利用ください！



ご意見ありがとうございます

前号では、年末年始に実施した返却期限に関するアンケートの結果報告を特集しました。返却期限について以外のご意見・ご要望をいただきましたので、今号も引き続き、内容と図書館からの回答を紹介します。

ご意見	回答
休日も開館時間が19時～20時までであると便利だが。	中央館では貸出室・参考室が平日19時まで開館しています。土日祝日の開館時間延長については、文化公園内周辺施設と協議が必要になります。地区館の時間延長は、人通りの少なくなる夜間の安全確保の問題や、図書館周辺の住宅地へ騒音などの影響を考慮しながら引き続き検討してまいります。
希望は開館時間の延長(2時間くらい)(注:地区館利用の方)	
平日は無理でも、日曜だけ開館時間を1時間延ばしてもらえると助かる。(注:地区館利用の方)	
休日は可能な限り開館してほしい。	休祝日については、現在土日曜日と、祝日を開館しています。年末年始については、図書館内および中央図書館がある文化公園内の各施設と共同で、今後どのような開館形態が望ましいか研究してまいります。
市内4館あるので、年末年始は1館でも利用できるようにしてほしい。	
貸出期間が3週間あるとよい。	貸出期間については、特に人気のある本は予約が多数集中するため、3週間貸出にすると予約されている方の順番が回ってのが一層遅くなってしまいます。予約の入っていない資料は、返却期限以内でしたら貸出期限を2週間延長できます。インターネットや電話自動音声システムからでも手続きいただけますので、ぜひご利用ください。
返却期限を守らない人に対策を取ってもらわないと、次の人の迷惑になる。	未返却資料への対応は、予約の入った資料については特に重点的に電話・はがきによる督促を行っています。それでもご返却いただけない場合は自宅訪問し、留守の場合は内容証明郵便による督促等により、速やかな返却をお願いしています。余りに悪質な延滞の場合には、利用制限も検討いたします。
館内の利用マナーについて、積極的に注意や協力を求めるようにしてほしい。	館内各所に利用マナーについて掲示を出し、携帯電話や大きな声での立ち話、飲食等されている方には職員がご遠慮いただくようお願いしています。大勢の方が利用される施設ですので、お互いにマナーを守り、譲り合って気持ちよくご利用いただきたいと思います。
大声で話す利用者に注意をしてほしい。	

昨年6月から、各図書館に意見箱を設置しています。こちらにお寄せいただいたご意見・ご要望についても、今後「きいぷ」誌上に掲載し、お答えしていく予定です。

お問合せ先

			
中央図書館 〒254-0041 浅間町 12-41 Tel 0463-31-0415 Fax 0463-31-9984	北図書館 〒254-0013 田村 3-12-5 Tel 0463-53-1232 Fax 0463-53-1261	西図書館 〒254-0911 山下 760-3 Tel 0463-36-3555 Fax 0463-36-7230	南図書館 〒254-0813 袖ヶ浜 20-1 Tel 0463-21-3080 Fax 0463-21-5181

ホームページ: <http://www.lib.city.hiratsuka.kanagawa.jp/>

メールでのお問合せは、ホームページの中にある「お問合せ」のフォームでお送りください。

きいぷ 82号 編集・発行 平塚市中央図書館 発行日 平成24年3月1日